

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

保育の公平性を求めた請願を全会一致で可決

市議会には、平成 27 年度に町田市 of 教育予算が減額されていることで、学校内での備品費、消耗品費他に窮しているとの事実が伝えられています。その状況の改善を図るために、必要な学校教育予算を確保するように求める決議を「全会一致」で可決しました。

幼児保育の分野において、町田市は施設の新規増設を施策の中心にすえてきました。この行政施策に対して、町田市における現況の課題は、定数数に不足する保育士の確保とその待遇改善が優先課題だと指摘してきました。私は決算委員会の審議を通じて、その改善を求める付帯意見を付けましたので、来年度に一定の改善が図られるでしょう。

さらに、子ども施策に関して、保育環境の整備が進んでも、施設に入っていない幼児には、行政の施策が及んでいないことに関して、その改善を求める請願が提出されました。その趣旨は、施設に入らないと保育の支援がないことに関して、家庭内で保育する乳幼児に対して財政的な支援を公平に行ってほしいと言うものでした。この請願に対して、行政の考えは、保育の施設に入っていない乳幼児に対して負担はできないというものでした。通常、こうした事態を「(請願の) 願意に実現性が無い」と称することがありますが、市議会は現状の法律や条例に定められていなくても、その一部でも改善されることを要求する意味で、その請願の趣旨を生かして、行政にその施策の転換を求めるために、請願採択を全会一致で決めました。

ビブリオバトルと図書

千代田区大手町にある読売新聞ビルのよみうり大手町ホールで開催された、「全国大学ビブリオバトル 2015」(2015. 12. 23)を見学しました。これまでに、6 回開催されてきました。出場者は全国の地区予選で選ばれた大学生 30 人、観覧者は一般募集の 400 人でした。端的に言えば、出場者が自分で気に入った本を出席者の前で紹介し、どの本を読みたくなったかを決するものです。5 分で紹介し、2 分の質疑を受けるルールです。参加者に最高の支持があった本がチャンプ本と呼ばれます。

私が最初にこの取り組みを知ったのは、福島県内の「桜の聖母女子短大」で開催されたバトルを見てのことでした。大学生以外にも高校生のバトルもあり、あるいは書店が主催するもの、あるいは個別の大学・学校単位で開催されているものもあるようです。読書好きの若者が参加する有意義な取り組みです。

思うに、町田市で考えると、町田市立図書館で行えば、世代を超えて読書人を増やす取り組みになると思われます。今後の議会で、この知的書評合戦(ビブリオバトル)という企画を提案してみようと思っています。



商業出版された自著(現在絶版)を語る

★無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

市議会改革調査特別委員会が終結

地方自治体議会で、政務活動費の使途をいかに透明化するか、適正化とはなにかが問われており、当、町田市議会でも、市議会改革調査特別委員会を設置して半年間議論を重ねました。もちろん、委員会の過程で全会一致、あるいは多数、あるいは少数意見で退けられたものもありました。最終的に、平成 27 年度第 4 定例会で、特別委員会提出議案として本会議で諮られ、条例を改正した次第です。

政務活動費の使途の領収書の公開では、公開方法をネット公開に改善し、外部から常時閲覧することが可能になり、透明度を高める変更を決めました。

また、政務活動費の支出項目、記載名で使用する言葉を明確化しました。そして、一部定額支給（通信費関係）がありましたが、今回の改正で領収書等の添付と、実額制に基づく年間上限設定を定めました。市議会の政務活動費（月間 6 万円相当・23 区の 4 分の 1～約 3 分の 1）の上限は検討せず、据え置きを前提にしています。*なお、町田市議会は報酬年額を議会決定で平成 26 年度より減額しています。（↓：放映 TV 映像を撮影）



テレビ朝日「ビートたけしの TV タックル」よりスタジオ出演の依頼があり、政務活動費を語る。

議員報酬と政務活動費

千代田区では、千代田区議会（議員）の政務活動費の報酬振り替え問題が話題になっています。千代田区の報酬審議会では、政務活動費を大半、報酬に振り返る案（月額 15 万円→月額 5 万円減額し、10 万円を報酬に上積みする案）を策定し、区長に答申したというニュースが発表されました。

それでは、千代田区議会はどうか考えるのか、「使途の報告を義務付ける政務活動費制度は廃止すべき」という答申の趣旨には、「迷惑」と言うスタンスのようです。恐らく、大半の議員がそのように答えるのではないのでしょうか。この答申内容は、政治の透明化を求める世論に逆行するものと判断されました。

もちろん、今回の答申に至る中で、誰かがその答申に繋がる意見を主張したから、その考え方が出てきたわけでしょう。しかし、政治家は目ざといでメディアを始めとする大批判が起きると、そうした火の粉から遠ざかりたいもので、だれが言っていたのか、どのように言っていたかは不明になるのが常です。よって、今回の千代田区の千代田区議会（議員）の政務活動費の報酬振り替え問題は振り出しに戻る可能性が出てきました。

結果的に、この答申を行った学者がバカを見る可能性が出てきましたが、「透明性の確保」を求めない答申は、中に浮くこともあることを知るべきでしょう。先に、議会の意見を明確に出したうえで、それと世間の例を加味して考えるのが時勢に精通した学者と言えましょう。ということで、今回は区長も責任が無く、全ては審議会が独走したと言う収束が最も有り得る姿ではないのでしょうか。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)